

平成 27 年 度

宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

宮崎市監査委員

宮 監 第 5 8 号 1
平成 2 8 年 9 月 1 6 日

宮崎市大字折生迫財産区財産管理者
宮崎市長 戸 敷 正 殿

| | |
|---------|---------|
| 宮崎市監査委員 | 山 田 義 郎 |
| 宮崎市監査委員 | 神 戸 洋一郎 |
| 宮崎市監査委員 | 福 井 太 |
| 宮崎市監査委員 | 日 高 貞 次 |

平成 2 7 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計
歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項の規定により審査に付された平成 2 7 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算について、次のとおり意見を提出します。

目 次

大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

| | | |
|-----|---------|---|
| 第1 | 審査の対象 | 1 |
| 第2 | 審査の期間 | 1 |
| 第3 | 審査の方法 | 1 |
| 第4 | 審査の結果 | 1 |
| 第5 | 審査意見 | 1 |
| 第6 | 決算の概要 | |
| 1 | 特別会計 | |
| (1) | 決算収支の状況 | 2 |
| (2) | 歳入 | 2 |
| (3) | 歳出 | 5 |
| 2 | 財産の状況 | 7 |

凡 例

- 文中及び表中の金額は、原則として円単位で算定し、千円未満を四捨五入して表示する。
- 文中及び表中の比率は、原則として円単位で算定し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで表示する。
- 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「 0.0 」…………… 該当数値はあるが、単位未満のもの。
 - 「 - 」…………… 該当数値のないもの。
 - 「 △ 」…………… 負数を示し、増減を示すときは減を表す。
 - 「 皆増 」…………… 前年度、該当数値がなく比率が出せないもの。

平成 27 年度 宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

平成 27 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算

第 2 審査の期間

平成 28 年 7 月 26 日から平成 28 年 9 月 16 日まで

第 3 審査の方法

平成 27 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算書及び決算書附属書類について、関係法令に準拠して作成されているかを確認し、それらの計数が正確であるかについて、各種帳簿、証書類及びその他の関係書類と照合した。

併せて、予算の執行状況及び決算の内容について、関係職員から説明を聴取するとともに、年度比較による分析を行うなどの方法により審査した。

第 4 審査の結果

平成 27 年度宮崎市大字折生迫財産区特別会計歳入歳出決算書及び決算書附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、かつその計数は正確であり、予算の執行及びこれに係る財務会計事務の処理はおおむね適正であると認めた。

第 5 審査意見

平成 27 年度は財産区有の土地や墓地の適切な維持管理に努めたほか、財産管理台帳の整備や折生迫広場に存置されたポリ塩化ビフェニル廃棄物（以下、「PCB廃棄物」という。）の処分に対する補助を行った。

その結果、平成 27 年度の決算額は、歳入総額が 39,989 千円、歳出総額が 38,623 千円で前年度に比べ歳入が 7,955 千円（24.8%）、歳出が 9,822 千円（34.1%）ともに増加している。

歳入の予算現額に対する収入率は 100.8%、調定額に対する収入率は 79.8%で、ブルーアイランドリゾート株式会社が納付すべき土地貸付料の滞納繰越分を不納欠損処理したことにより、収入未済額 34 千円は、前年度に比べ 10,112 千円（99.7%）減少している。一方、歳出の予算現額に対する執行率は 97.4%で、不用額 1,047 千円は前年度に比べ 1,403 千円（57.3%）減少している。

なお、審査の過程において、財産管理事務について、これまで数年をかけて財産区有の土地等の地籍や権利関係の調査・把握に努めた結果、山林以外については財産管理台帳の整備を完了し、山林については登記簿の確認が終了したことが確認された。今後は、計画的かつ速やかに山林に係る財産管理台帳の整備に取り組む必要がある。

また、財政運営について、財産区内住民の福祉を増進するための各種事業の費用等に充てるため宮崎市大字折生迫財産区基金が設置され、同基金条例に基づき特別会計の収支不足額は同基金の繰入で賄われているが、基金残高は年々減少している。このような状況のもと大字折生迫財産区を安定的に運営していくためには、歳出の見直しとともに新たな歳

入を確保していく必要があることから、折生迫広場の活用による歳入確保について、宮崎市と連携し効果的な方策を検討されたい。また、墓地をはじめとする大字折生迫財産区の財産を将来に渡り適正に維持管理するための費用について、中長期的な見通しを立てるとともに、使用者の理解を得ながら費用負担のあり方を検討することが望ましい。

第6 決算の概要

1 特別会計

(1) 決算収支の状況

決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

| 区 分 | 27年度 | 26年度 | 増 減 | 増減率 |
|----------------------------|--------|--------|---------|--------|
| 歳 入 総 額 (A) | 39,989 | 32,034 | 7,955 | 24.8 |
| 歳 出 総 額 (B) | 38,623 | 28,801 | 9,822 | 34.1 |
| 歳入歳出差引額 (C) (A) - (B) | 1,366 | 3,232 | △ 1,866 | △ 57.7 |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 (D) | 0 | 0 | 0 | — |
| 実 質 収 支 額 (E) (C) - (D) | 1,366 | 3,232 | △ 1,866 | △ 57.7 |

- ・歳入総額は39,989千円(前年度比7,955千円、24.8%増)、歳出総額は38,623千円(同比9,822千円、34.1%増)である。歳入・歳出ともに前年度に比べ増加している。
- ・歳入歳出差引額(形式収支)及び実質収支額はともに1,366千円(同比1,866千円、57.7%減)となっている。

(2) 歳 入

歳入の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|--------|--------|--------|--------|----------|-------|------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 27 | 39,670 | 50,103 | 39,989 | 10,080 | 34 | 100.8 | 79.8 |
| 26 | 31,251 | 42,180 | 32,034 | 0 | 10,146 | 102.5 | 75.9 |
| 増 減 | 8,419 | 7,923 | 7,955 | 10,080 | △ 10,112 | △ 1.7 | 3.9 |
| 増減率 | 26.9 | 18.8 | 24.8 | 皆増 | △ 99.7 | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して100.8%、調定額に対して79.8%である。
- ・収入済額39,989千円は、前年度に比べ7,955千円(24.8%)増加している。これは、使用料及び手数料が624千円、財産収入が5,391千円、繰越金が2,321千円減少したものの、繰入金15,000

千円、諸収入が1,291千円増加したことによるものである。

- ・不納欠損額は前年度に比べ10,080千円（皆増）増加している。これは、平成27年11月、裁判所によるブルーアイランドリゾート株式会社の破産手続廃止の決定に伴い、同年12月に同社が消滅したため、同社が納付すべき土地貸付料の滞納繰越分を不納欠損処理したことによるものである。
- ・収入未済額34千円は、前年度に比べ10,112千円(99.7%)減少している。

〈 各款の決算状況 〉

第5款 使用料及び手数料

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 27 | 304 | 305 | 305 | 0 | 0 | 100.3 | 100.0 |
| 26 | 928 | 929 | 929 | 0 | 0 | 100.1 | 100.0 |
| 増 減 | △ 624 | △ 624 | △ 624 | 0 | 0 | 0.2 | 0.0 |
| 増減率 | △ 67.2 | △ 67.2 | △ 67.2 | — | — | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して100.3%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額305千円は、前年度に比べ624千円(67.2%)減少している。これは主に、墓地の貸出件数の減によるものである。

第10款 財産収入

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------|---------|---------|--------|----------|-------|--------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 27 | 7,075 | 17,169 | 7,054 | 10,080 | 34 | 99.7 | 41.1 |
| 26 | 11,664 | 22,592 | 12,445 | 0 | 10,146 | 106.7 | 55.1 |
| 増 減 | △ 4,589 | △ 5,423 | △ 5,391 | 10,080 | △ 10,112 | △ 7.0 | △ 14.0 |
| 増減率 | △ 39.3 | △ 24.0 | △ 43.3 | 皆増 | △ 99.7 | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して99.7%、調定額に対して41.1%である。
- ・収入済額7,054千円は、前年度に比べ5,391千円(43.3%)減少している。これは、分収林収益に係る不動産売払収入が減少したことによるものである。
- ・不納欠損額は前年度に比べ10,080千円（皆増）増加している。これは、平成27年11月、裁判所によるブルーアイランドリゾート株式会社の破産手続廃止の決定に伴い、同年12月に同社が消滅したため、同社が納付すべき土地貸付料の滞納繰越分を不納欠損処理したことによるものである。
- ・収入未済額34千円は、前年度に比べ10,112千円(99.7%)減少している。

第18款 繰入金

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 調定 |
| 27 | 28,000 | 28,000 | 28,000 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 26 | 13,000 | 13,000 | 13,000 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 増 減 | 15,000 | 15,000 | 15,000 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 | 115.4 | 115.4 | 115.4 | — | — | — | — |

- ・収入率は、予算現額及び調定額に対して、ともに100.0%である。
- ・収入済額28,000千円は、前年度に比べ15,000千円(115.4%)増加している。

第20款 繰越金

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|---------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 27 | 3,232 | 3,232 | 3,232 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 26 | 5,553 | 5,553 | 5,553 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 増 減 | △ 2,321 | △ 2,321 | △ 2,321 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0 |
| 増減率 | △ 41.8 | △ 41.8 | △ 41.8 | — | — | — | — |

- ・収入率は、予算現額及び調定額に対して、ともに100.0%である。これは、前年度繰越金である。

第25款 諸収入

(単位：千円・%)

| 年 度 | 予算現額 | 調定額 | 収入済額 | 不納欠損額 | 収入未済額 | 収入率 | |
|-----|-------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 対予算 | 対調定 |
| 27 | 1,059 | 1,397 | 1,397 | 0 | 0 | 132.0 | 100.0 |
| 26 | 106 | 106 | 106 | 0 | 0 | 100.0 | 100.0 |
| 増 減 | 953 | 1,291 | 1,291 | 0 | 0 | 32.0 | 0.0 |
| 増減率 | 899.1 | 1,217.9 | 1,217.9 | — | — | — | — |

- ・収入率は、予算現額に対して132.0%、調定額に対して100.0%である。
- ・収入済額1,397千円は、前年度に比べ1,291千円(1,217.9%)増加している。これは主に、山林の植林や下刈などに対して交付された宮崎県森林整備事業補助金などによるものである。

(3) 歳 出

歳出の状況は、次のとおりである。

(単位：千円・%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|---------|---------|---------|-------|
| 27 | 39,670 | 38,623 | 1,047 | 97.4 |
| 26 | 31,251 | 28,801 | 2,450 | 92.2 |
| 増 減 | 8,419 | 9,822 | △ 1,403 | 5.2 |
| 増減率 | 26.9 | 34.1 | △ 57.3 | — |

- ・ 執行率は、予算現額に対して 97.4%である。
- ・ 支出済額 38,623 千円は、前年度に比べ 9,822 千円(34.1%)増加している。これは、議会費が 21 千円、諸支出金が 697 千円減少したものの、総務費が 10,539 千円増加したことによるものである。
- ・ 不用額 1,047 千円は、前年度に比べ 1,403 千円 (57.3%) 減少している。

〈 各款の執行状況 〉

第 10 款 議会費

(単位：千円・%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|---------|---------|--------|-------|
| 27 | 1,751 | 1,722 | 29 | 98.3 |
| 26 | 1,788 | 1,742 | 46 | 97.5 |
| 増 減 | △ 37 | △ 21 | △ 16 | 0.9 |
| 増減率 | △ 2.1 | △ 1.2 | △ 35.8 | — |

- ・ 支出済額 1,722 千円は、前年度に比べ 21 千円 (1.2%) 減少している。これは主に、旅費が 50 千円減少したことによるものである。
- ・ 不用額 29 千円は、交際費などの執行残である。

第 15 款 総務費

(単位：千円・%)

| 年度 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 不 用 額 | 執 行 率 |
|-----|---------|---------|---------|-------|
| 27 | 21,515 | 21,147 | 368 | 98.3 |
| 26 | 12,239 | 10,608 | 1,631 | 86.7 |
| 増 減 | 9,276 | 10,539 | △ 1,263 | 11.6 |
| 増減率 | 75.8 | 99.4 | △ 77.5 | — |

- ・支出済額 21,147 千円は、前年度に比べ 10,539 千円（99.4%）増加している。これは、一般管理費が 1,643 千円減少したものの、財産管理費が 8,610 千円、墓地維持管理費が 1,256 千円、財産区選挙費が 2,316 千円（皆増）増加したことによるものである。主な要因は、財産管理費における PCB 廃棄物の処理に係る補助金（9,834 千円）の支出^{（注）}、及び財産区選挙費における財産区議会議員選挙に係る委託料（2,316 千円）である。
- ・不用額は 368 千円で、主なものは委託料の執行残である。

（注）

大字折生迫財産区が平成 24 年 8 月に提訴した事件について、「ブルーアイランドリゾート株式会社は、大字折生迫財産区に対し、PCB 廃棄物保管倉庫及び倉庫内に存する PCB 廃棄物を収去し、土地を明け渡す」「大字折生迫財産区及びブルーアイランドリゾート株式会社は PCB 廃棄物の移動及び処分等について、誠実に協議し協力する」旨の和解が同年 11 月に成立した。しかしながら、同社の代理人弁護士から大字折生迫財産区に対し、国の処理費用軽減制度を活用して処理したいが、費用を捻出できないため、処理費用を負担してもらいたいとの申し入れが平成 26 年 7 月になされた。大字折生迫財産区がこの申し入れに対応しない場合、PCB 廃棄物が処分されず、存置されたままとなることが想定されたことから、平成 26 年 10 月 28 日の大字折生迫財産区議会において、この処分費用を補助金として支出する補正予算案が議決されたものである。

第 20 款 諸支出金

（単位：千円・%）

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|--------|--------|-----|-------|
| 27 | 15,754 | 15,754 | 0 | 100.0 |
| 26 | 16,451 | 16,451 | 0 | 100.0 |
| 増減 | △ 697 | △ 697 | 0 | 0.0 |
| 増減率 | △ 4.2 | △ 4.2 | — | — |

- ・支出済額 15,754 千円は、前年度に比べ 697 千円（4.2%）減少している。これは、宮崎市への繰出金（負担すべき人件費相当分）が 303 千円増加したものの、積立金が 1,000 千円減少したことによるものである。

第 25 款 予備費

（単位：千円・%）

| 年度 | 予算現額 | 支出済額 | 不用額 | 執行率 |
|-----|--------|------|--------|-----|
| 27 | 650 | 0 | 650 | 0.0 |
| 26 | 773 | 0 | 773 | 0.0 |
| 増減 | △ 123 | 0 | △ 123 | 0.0 |
| 増減率 | △ 15.9 | — | △ 15.9 | — |

- ・予算現額は 650 千円で、予備費の充用はなかった。

2 財産の状況

財産の状況は、次のとおりである。

| 区 分 | 単位 | 前年度末現在高 | 年度中増減高 | 決算年度末現在高 |
|-----------------|----------------|------------|------------|------------|
| 1 土 地 等 | m ² | 333,170.69 | △ 2,962.54 | 330,208.15 |
| 墓 地 | m ² | 15,187.86 | 414.19 | 15,602.05 |
| 青島公園墓地 953区画 | | | | |
| 白坂墓地 81区画 | | | | |
| 五庵園墓地 5区画 | | | | |
| 山 林 | m ² | 16,158.41 | △ 47.50 | 16,110.91 |
| 山林(立木の推定蓄積量) | m ³ | 2,752.04 | 27.10 | 2,779.14 |
| 原 野 | m ² | 256,750.94 | △ 4,069.79 | 252,681.15 |
| 原野(立木の推定蓄積量) | m ³ | 8,034.64 | 79.11 | 8,113.75 |
| 溜 め 池 | m ² | 3,064.00 | 0.00 | 3,064.00 |
| 宅 地 | m ² | 20,582.70 | 1,573.35 | 22,156.05 |
| 地 上 権 設 定 地 | m ² | 6,276.00 | 0.00 | 6,276.00 |
| そ の 他 | m ² | 15,150.78 | △ 832.79 | 14,317.99 |
| 2 出 資 に よ る 権 利 | 千円 | 883 | 0 | 883 |
| 宮崎中央森林組合出資金 | 千円 | 883 | 0 | 883 |
| 3 基 金 | 千円 | 91,000 | △ 17,000 | 74,000 |
| 折生迫財産区基金 | 千円 | 91,000 | △ 17,000 | 74,000 |

・土地等については、墓地、宅地などが増加し、山林、原野などが減少している。これらは、

取得又は処分による増減ではなく、財産台帳の整備の過程において判明したものである。